



香梅雨

雨二方様以始皆く様

雨梅雨 雨梅雨

雨梅雨 雨梅雨

雨梅雨 雨梅雨

雨梅雨 雨梅雨

雨梅雨 雨梅雨

雨梅雨 雨梅雨

雨梅雨 雨梅雨

雨梅雨 雨梅雨

雨梅雨 雨梅雨

雨梅雨 雨梅雨

所地ニ富強改定するに

起つては官位に大

官位とせしむる

徳理のゆけん職に

所親任任りし

何よりし

方根ノ今後ハ

一層而用多

たふし

梅雨中候

は

俄ニ

三〇、九、五

を

所也

あ

而

三〇二九千五百部の簿が
まじりに清成の年
西地にさるかとすの
あつたはつた
市飲とす
可読

七月一日

周知

市二方様

五月
里の事にはいふ
以て
只
ま今
池
は
あ

大
御
殿
眞
様
御
元



織

佐賀市松山町

岡本屋